



To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2008年12月 No.319  
 Chartered July 20, 1982

## 主 題 Y's THEME (2007~2008)

センテニアルクラブ会長：『新たな感動を、再び』  
 東京セントラルクラブ会長：『活躍しよう Be Active』  
 国際会長：『希望の灯となろう』  
 アジア会長：『希望の灯となろう』  
 西日本区理事：『思いやりを持ってワイズライフを！』  
 中西部部長：『喜びを共にし、苦しみを分かち合おう』

## クラブ役員 Officers

会長：大村 肇  
 副会長：山中 秀男  
 書記：石津 雅人  
 会計：中村 幸枝  
 ネット会長：山村 利子  
 Y連絡職員：鍛冶田 千文

しかし、わたしはあなたがたに言う。悪人に手向かうな。もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、ほかの頬をも向けてやりなさい。あなたを訴えて、下着を取ろうとするものには、上着をも与えなさい。もし、だれかが、あなたをしいて1マイル行かせようとするなら、その人と共に2マイル行きなさい。

(マタイによる福音書 5章 39~41節)

## December Club Meeting

『EMC』

### 12月第1例会(クリスマス)

日時：2008年12月17日(水) 18:30~20:30

場所：ホテルグランヴィア大阪

司会：石津 雅人 君

1. 開会点鐘 大村 肇 会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 大村 肇 会長
4. 聖句朗読 中村 茂高 君
5. 今月の強調活動 大村 肇 会長
6. 晩 餐 一同
7. ミニコンサート 「デュオ アゲイン」
8. プレゼント交換 石津 雅人 君
9. お誕生祝い・ニコニコ献金
10. 閉会点鐘 大村 肇 会長

\*参加費は一律4,000円。プレゼント交換をするので、各自1,000円程度の品をご用意ください。

### 12月第2例会

日時：2008年12月10日(水) 18:30~20:30

場所：大阪YMCA土佐堀会館4階

\*日程が変更になっています。

12月お誕生日：中村隆幸メン(26日)

例会担当：3班：石津、松浦、谷川、中村隆、隅田、山村君

## 英国の教育

山中 秀男

英国の教育は文字通り EDUCATION で、各人が持っている才能を目覚めさせ、それを引出し磨きを掛けることに徹しています。教育は年齢に拘らず、学校に行く必要もなく、子供に最も適した場所するのが望ましいと、1996年改正された教育法でもこの原則は追認されています。この自由さが英国の教育システムを複雑にしており、3歳までは共通ですが、その後は3系統に分かれ、しかも相互に乘換えられるようになっていきます。3系統については長くなるので省略します。

また英国では、子供と云えども社会人と同じルール、マナーが要求されます。興味深いのは親の権利-考え方を認めている点です。例えば小学校の高学年から性教育が始まりますが、親に異存があれば申し出て受講させない事も出来ます。社会の中でどの様に生きるのか、生き抜くために色々な CHALLENGE - 挑戦が必要な事、挑戦を繰り返す事で自信が生まれるとし、自分で考え、判断、行動することを教育の主眼にしています。

## 【クラブ統計 Statistics】

2008年11月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 18名	メ ン	14名	7名	11月 230g	11月：16,000円
例会出席 14名	メネット	6名	1名	現 金 500円	
うちキーキャップ	ビジター	0名	0名	切 手 累計：922g	累計：121,900円
0名	ゲ ス ト	0名	0名	現 金 累計：1000円	
出席率 77.8%	合 計	20名	8名		

## 11月第2例会報告

と き：11月26日(水) 18:30~20:30

と ころ：土佐堀YMCA

出席者：石津、大村、鍛治田、藤原、松浦、山田、山村、三浦

### 協議事項

- (1) 1月例会(1月21日(水))  
谷川メン(イスラエル訪問記)(案)  
オ-クシオン
- (2) 12月6日(土)土佐堀クリスマスのおどい  
17:30 大阪教会集合  
18:00~18:30 大阪教会  
19:00~20:30 大阪YMCAホ-ル  
役割分担=受付 教会掃除 テ-ブルマスタ-(4人)
- (3) 12月10日(水)10:00~11:30  
表コミとのクリスマスゲ-ム大会 <大阪YMCA4F>  
クラブから多数の参加をつのる  
ゲ-ムの進行 畠中、景品の準備 大村
- (4) 1月12日(月・祝)中西部合同新年会  
参加者(予定);藤原、石津、大村、松浦、松浦メネット、  
中村(茂)、福永、坂本、坂本メネット、隅田メネット、  
山田、谷川、山中、山村、三浦
- (5) 2月7日(土)センテニアル寄席の件  
14:00開場 14:30開演(大阪YMCA9F)  
役割分担/司会;中村(茂)/会計;藤原/受付、会場設  
営;チ-フ石津・表コミ生徒にも応援を依頼/会場案内・  
物品販売;メネット、メン/チラシ・チケット印刷;石津  
/チケット150枚(内、表コミ15枚)

### 第2回中西部評議会報告

- (1) 西日本区役員会議案報告  
次次期理事決定  
ロ-ルバックマラリアの取組み  
ワイズ読本1冊1000円人数分購入する
- (2) 中西部議案  
次次期部長の件  
センテニアルから推薦する = 松浦孝次 メン  
次期クラブ会長は1月の評議会までに連絡  
ユ-ス ワンコイン募金実施 500円X人数  
募金で実施する  
YYフォ-ラム 2月6日(金)18:30~20:20  
大阪YMCA10階チャペル  
中西部会の余剰金で部旗を作成する。

(三浦直之)

## 11月BFニュース

### 切手提供者

山中、松浦、谷川、藤原、福永、隅田、山田、三浦君  
計 220g

今月の殊勲賞：山中君 50g

「目には目を、歯には歯を」という言葉はエスカレートする人間の行為を、損を受けた分、賠償をとることで、現代の法律にも生きています。

しかしイエスは全く違った高い視点で、人間のあり方を示します。相手の右の頬をたたくということは、およそ右利きの人々がたたく場合、右手の甲でたたくことになり、当時の慣習としては手の平でたたくよりも最大の侮辱を相手に与えたそうです。さらに左の頬もとイエスは言っています。相手が受けた苦しみよりもさらに大きな痛みを受けなさいと、イエスは教えています。

聖句選 コメント 中村 茂高

## 11月第1例会報告

日時：2008年11月19日(水) 18:30~20:30

場所：ホテルグランヴィア大阪21階

この冬一番といわれる寒いなか、20人が集まり第一例会を開催しました。本日のメインプログラムは、山中夫妻の「ロンドン生活」体験記。お嬢さんが住んでいるロンドンへ2月と4月から3ヵ月の体験を、まずはちあきメネットから伺いました。外国語のちょっとした発音の違いから、思わぬハプニングが続出。一例をあげると、「マンション」では向こうは高級住宅のことをさし、日本で言われているマンションは「アパートメント」あるいは「フラット」と呼ばれているそうです。また買い物では、「ラム」子羊の肉を「ランプ」(牛のしり肉)と間違われたこと。「ダウタウン」を向こうでは「セントラルロンドン」と呼ぶなど英国のエリート意識も感じられます。ずっと思いを胸に秘めていた「大憲章」(マグナカルタ)は羊の皮に黒い文字でぎっしり書かれていたのを見て感動。今では4枚しかなくなった内の1枚をこの目で見る事ができたそうです。

これは1215年のジョン王の悪政に対し上申されたもので、王、教会から、圧政からの自由は今の英国の法律に生きていくとのことです。また、犬に対するマナーにも日本では考えられない徹底した調教が行われており、日本が学ぶものを見ることができたとちあきメネットは語ってくれました。

秀男メンはバッキンガム宮殿内の429の部屋の多さやロンドン大学での見聞を披露。ロンドン大学が町中に学部がバラバラに校舎があり、最上階に宿舎があるなど、長く学生が大学に滞留できるシステムがあること。「学んだことが世界にインパクトを与える」という表示もおもしろい。ロンドンの生活ぶりがうかがえる話に、私たちも興味津津でした。

(中村茂高)



宅話をされる山中ご夫妻

**バイオリンコンサート**

日時 12月16日(火) 14:00~15:15  
 場所 大阪YMCA会館2Fホール  
 出演者 劉薇(りゅうい) / バイオリン・椎野伸一 / ピアノ  
 演目 からたちの花 / アヴェ・マリア / クリスマスソング  
 他  
 入場料 無料。\*クリスマス献金にご協力ください。

**早天祈祷会**

日時 12月19日(金) 7:30~8:30  
 \*毎月第三金曜日  
 証し 黒米忠一氏(日本キリスト教団森小路教会)

**自立支援シンポジウム**

~発達障害のある人の青年期の支援を考える~  
 日時 1月31日(土) 12:30~17:30  
 場所 大阪YMCA会館2Fホール  
 内容 「特別支援教育の最前線と今後」竹田契一氏・大阪教育大学名誉教授  
 「社会自立を支える“ライフスキルトレーニング”」小貫悟氏・明星大学准教授  
 (鍛冶田 千文)

**ハイキング報告**

11月23日クラブメンバー7名(藤原、松浦、畠中、三浦、坂本、石津、大村)でハイキングを実施しました。当日は、お天気に恵まれ、JR生瀬駅に集合し、旧福知山線の廃線を武田尾温泉までの約7kmを歩きました。武庫川沿いに紅葉を見ながら、六つのトンネルと鉄橋を渡りました。私も中学時代、蒸気機関車の煙の臭いを嗅ぎながらこの路線を走ったことを思い出しました。約2時間と短い時間でしたがトンネルの中がこんなに真っ暗とは思いませんでした。武田尾温泉駅近くで昼食を取り、1時過ぎに解散しました。今回は、連休と翌日がチャリティーランの予定でしたので、参加人数が少なかったですが、次回また楽しい企画を考えます。  
 (大村 肇)



**第14回チャリティーラン2008  
 [センテニアル・ファイターズ]力走。  
 30チーム中8位に入賞**

今年のチャリティーランは、11月24日に紅葉の真っ盛りの万博公園で開催されました。当日の天気予報は曇りから雨で、開会式は今にも雨が降り出しそうな不安な状況の中で盛大に行われました。今年は順位制20チーム、宣言タイム制30チーム、そしてオープン参加のチーム等計50チーム以上がエントリーし、それを支えるYMCAやワイズメンク

ラブのメンバーも多く、例年以上のお祭り気分が盛り上がっていました。我々のセンテニアルクラブも数年前の栄誉ある3位入賞の再現を目指し、強力チームを結成していましたが、大村、新保の2選手が急きょ走れなくなり、関西テレビの青少年リーダーにピンチランナーをお願いすることになりました。これが結果的にいい記録に結び付いたのかどうかは皆さんの判断に任せるとして、とにかく我がチームの選手の平均年齢はぐっと下がりました。第一走者は、多分出場選手中最高齢と思われる山田メンです。マイペースで走った後の次の走者は、寒いのに半パンで走ると張り切っていた中村メン。第3走者はただ1人の女性走者、関西テレビ青少年育成事業団職員の仲島さん。第4、第5と若い大学生リーダーが力走。雨と風が本格的になる中アンカー畠中メンと繋ぎなんとか宣言タイム55分に近いタイムでゴール。上位入賞を期待して結果の発表を待つこと約1時間。閉会式で発表された順位は8位で宣言タイムとの誤差は2分以内の100秒という好成绩でした。なんでも1位のタイム差は2秒とか3秒で「あれはちょっと我々には無理だよね」とあきらめとも慰めともつかぬ割りきりで満足して雨と紅葉の万博公園をあとにしました。  
 (畠中 彬)



力走中の山田さん

**Club Activities (December, 2008)**

On November 19, the club's November meeting was held at the Hotel Granvia Osaka with a total of 20 Y's men and Y's menettes in attendance. With its emphasis on "Public Relations & Wellness" this month, Y's man SHIGETAKA NAKAMURA outlined the meaning and purpose of programs.

The highlight of the meeting was the speech made by Mr. & Mrs. HIDEO and CHIAKI YAMANAKA, our member and Y's menette. They respectively spoke about their recent experiences during their stay in London. They went to London for helping their daughter giving birth to their grandchild there.

What they told us was very unique and interesting; a kind of civilization commentary, we all admired them for their vigorous curiosity and action power.

Yen 16,000 was collected for our club's niko-niko (smiling) fund.



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

会員からのメッセージ

とさぼりカーニバルでは皆様のご協力を得て無事に終わることが出来、感謝致します。有難うございました。  
(石津 雅人)

今月はYMCAやワイズでの行事が多く大変ですが、いろんな人に出会うことが出来、少しYMCAの事が理解できるようになりました。又、山中ご夫妻からロンドンでの生活を聞く事が出来、ロンドンに行った時の事が思い出されました。  
(大村 肇)

いつも凛とお着物を召されているちあきさん、お話を初めて伺ってますますファンになりました。  
(鍛治田 千文)

山中ちあきさんのEnglandのお話はとっても生活感のあるお話で面白かったです。主婦ならではの視点でイギリス滞在体験を楽しんでいらっしやっただんなーと思いました。  
(坂本 千春)

12月のクリスマス例会、欠席です。12月18日～22日までシンガポールに行きます。  
(坂本 哲朗)

ちあきさんのロンドンでのお話し楽しく伺いました。特にデパートでの様子は大変興味深かったです。  
(隅田 恵子)

今回のなごやかな例会で山中ご夫妻のロンドンのお話を伺いタラントのお土産まで頂き有難うございました。  
(田中 穰二)

今回も身内の仲間だけの例会でしたが、山中ご夫妻のお話を聴き楽しい例会でした。  
(谷川 寛)

千秋さんの好奇心は私も学ばねばなりません。最新のイギリス情報を有難うございました。  
(中村 幸枝)

この冬一番の寒い日の例会、山中ご夫妻の心温まる「ロンドン生活」の卓話でした。  
(中村 茂高)

急激な寒さに負けず例会に出席出来た事は幸いなことです、感謝！山中さんのロンドンのお話ひと味違った趣きに聞き入りました。有難うございます。  
(福永 嘉彦)

急に冬がやってきた様な一日でした。こうして元気に例会に出て来られる事は感謝です。今日は山中ご夫妻のロンドンでの御生活のお話しを楽しく聞かせて頂きました。  
(福永 茂子)

山中ご夫妻の英国のお話、大変興味深く拝聴させて頂きました。特にちあきさんの好奇心と行動力には驚かされました。谷川さんの香港のお葬式のお話といいセンチニアルの国際性がよく反映された楽しい例会でした。  
(藤原 正巳)

山中ご夫妻のロンドンでの生活、興味深く聞かせて頂きました。日常の買い物も国が変われば変わるものだなと思いました。好奇心を持っているいろいろ経験されて素晴らしいと思いました。  
(松浦 和子)

本年も早11月になりました。時の経つ早さに改めて驚きます。「今ある」ことに喜びと感謝を覚えねばなりませんね。山中ご夫妻の「ロンドン滞在話」は勇気を奮い立たせていただきました。  
(松浦 孝次)

山中ご夫妻のロンドンのお話、面白く聞かせて頂きました。是非、訪れてみたいものです。  
(三浦 直之)

アメリカ生活の長かった人からイギリス訪問の印象をお話していただきました。図書館での体験、百貨店(?)でのショッピングの印象、いずれも視点がユニークで「へーっ」と驚きながら聴きました。ありがとうございました。  
(山田 孝彦)

ロンドンの生活 life style の話をさせて頂きました。見た事、聞いた事の整理が出来ました。感謝。  
(山中 秀男、山中 ちあき)

山中メネットのお話楽しく聞かせていただきました。1ヶ月前、22年飼っていたロッキー(ねこ)がなくなりさびしくなりました。私を癒してくれていました。  
(山村 利子)

IBCクラブニュース

IBC・DBC委員長：藤原 正巳

“Aloha from Hawaii”:

ハワイヌアヌクラブ、ブリテンより要約

高齢市民向け「感謝祭ディナー」実施

同クラブの秋のビッグ・イベント、“高齢市民向け感謝祭ディナー”は、11月23日(日)に開催されました。このプロジェクトは今年で35回を迎えるヌアヌクラブ最大の地域プロジェクトで、毎年約200人のディナー出席者にディナーを提供し、ギフトを贈っています。

今年は特に、大半が80歳代のハワイアンバンド、“Hui Hanele O Aikane”が熱演され、喝さいを浴びた由です。

第73回「ハワイ地区大会」の予定

来年のハワイ地区大会は、オアフ島のIlima Hotelで5月16日(土)から5月18日(月)まで開催されることになりました。大会の会長は、皆様ご存知のWest Oahu Club, Walter Osakodaさんが勤められます。

後記

暴力が蔓延する社会

インドのムンバイで起きた同時多発テロは日本人を巻き込む大惨事となりました。7年前の米国911同時多発テロの悪夢を彷彿とさせます。

国内に目を転じて、毎日のように起きる暴力事件がメディアをにぎわしています。とても安心して暮らせる世の中ではありません。

イエスの時代はどうだったかと言うと、やはりユダヤの民はローマ帝国の占領下にあえぎ苦しんでいました。

聖句の暴力に対する姿勢は、私たちの日常生活の中でどうあるべきかを考えさせてくれます。私たちは、暴力や悪意に屈せない自由な精神と豊かな感情をもつことが求められているのではないのでしょうか。

中村 茂高